

北秋田市「歴史文化基本構想」イメージ

文化財

地域総博物館
(エコミュージアム)

- 文化的景観と関連文化財群エリアの設定
歴史的景観の保護と利活用
- 文化財調査の継続化
文化財の管理状況(現況)
把握文化財の詳細調査(データベースの更新)

施設・体制

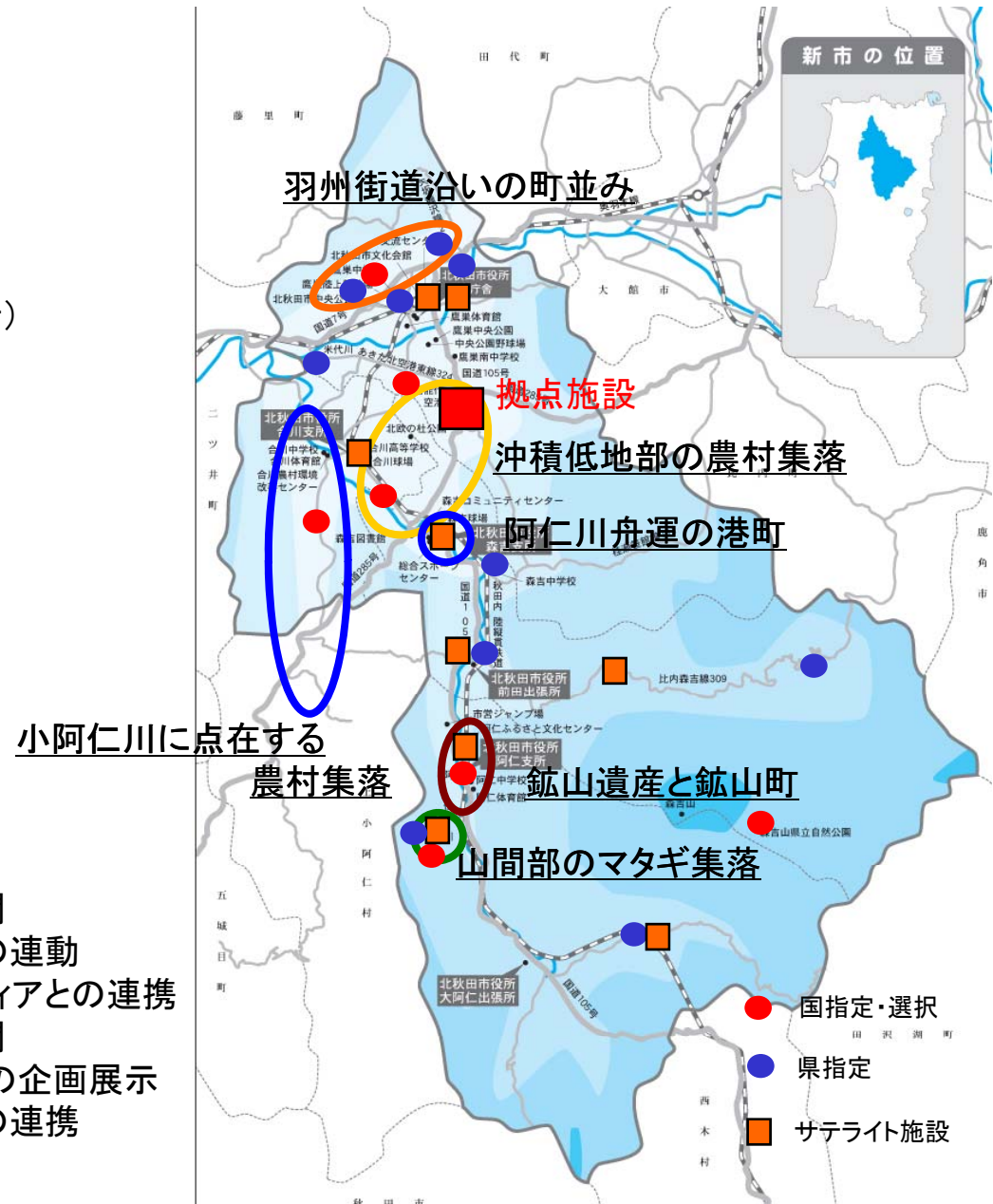
一元管理
多元利用

- 拠点施設整備(遊休施設利用)
収蔵・管理、展示公開
調査・研究、研究受入(滞在型)
- サテライト施設整備
展示・管理、展示の統一化
- 文化財・施設の管理・運用体制確立

連携体制

地域・外部連携
(ワンストップ)

- 都市計画
都市計画との連動
まちづくり(民間)との協働
- 景観農振
農振計画との連動
農業基盤整備
- 教育関連機関
学校機関との連動
- 地域ボランティアとの連携
- 観光関連機関
観光施設への企画展示
誘客戦略との連携



北秋田市 事業概要

●事業内容

1 歴史文化基本構想等策定委員会（一般公開）

委員構成 14名（県行政2名、市行政5名、民間団体3名、有識者4名）

第1回：事業趣旨・市内文化財の現状説明。調査方法の検討。

第2回：文化財調査の体制・進行状況説明。基本構想・保存活用イメージの検討。

第3回：文化財調査中間報告。取りまとめ方針の検討。

2 文化財調査

調査員構成16名（民間の文化財保護団体等より選出委嘱）

・指定文化財の現状調査（文献調査、聴き取りも含む）

・掘り起こし、リストアップ

3 地元説明会

・事業趣旨および文化財調査方法説明。調査協力要請。

●関連文化財群設定の進め方

・文化財調査項目にテーマ設定（通史的な分類）。

・文化財調査。

・マッピング（テーマ別・関連文化財の分布把握）。

・文化的景観エリアと関連文化財群のゾーニング（作業中）。

・文化的景観エリア中心地の聴き取り調査（「生業カレンダー」、「景観スケッチ」作成）（作業中）

●連携体制

・県および市関連行政部局への事務レベル説明会。

・県主催「景観セミナー」参加（文化財部局2名。都市計画部局1名）

・文化財保護審議会との連携。

・国際教養大学との協働（行政、大学、調査員）。

北秋田市 モデル事業の取り組み

● 既往調査との相違点

- ・「歴まち法」によるまちづくり計画の策定、「歴史文化基本構想」策定のための基礎資料としての位置付け。
- ・文化財類型として「文化的景観」を対象として設定。
- ・調査項目にテーマを設定(①狩猟・漁撈・採集文化、②古代～現代の農村生活と信仰習俗、③産業化の足跡)。
- ・文化的景観と関連文化財群エリアの設定。
- ・「生業カレンダー」と「景観スケッチ」(地域の周期性と景観構造の把握、形にならない文化の把握)。

● 苦勞した点

- ・ 調査員の選出(市文化財保護関係団体の把握と協働関係の確立)
- ・ 調査類型の偏りの是正
- ・ 「文化的景観」の認識浸透

● 策定委員からの指摘事項

<事業全般>

- ・事業後も継続する方向、組織、体制づくり(第1回)
- ・文化財による地域の物語の創造と観光とのリンク(地域活性化)(第1回)
- ・人口動態・後継者育成を考慮した実現可能な保存活用計画の立案(伝統文化・民俗芸能)(第2回)
- ・文化財への日常性の付与(保存活用のための日常性の再編)(第2回)

<文化財調査>

- ・指定の有無・類型にとらわれない地域性のある文化財の掘り起こし(第1回)
- ・文化財調査の継続性(事業での枠組みづくりと以後の体制・組織づくり)(第2回)
- ・生活の動態変化の痕跡としての文化財の把握(地域の歴史文化の積層把握)(第2回)
- ・調査対象区域の拡大(隣接する行政区への拡大と連携)(第3回)